

マグロ類における緊急赤潮情報2

令和3年6月16日
大分県農林水産研究指導センター水産研究部

佐賀関～臼杵湾でシャットネラ類(有害プランクトン)が警戒密度を超えています。マグロ類の管理に十分注意願います。

発生場所 佐賀関～臼杵湾
発生期間 6月16日～
プランクトン シャットネラ類
一尺屋 30 cells/ml
※詳細は別紙参照

(シャットネラ属の注意点)

- ・ マグロの場合 警戒密度：10 cells/ml 注意密度：1 cells/ml
- ・ シャットネラ属は魚介類に斃死を引き起こす有害な赤潮プランクトンです。
- ・ 海面が着色する前の低密度（100 細胞/ml）で斃死させます。
- ・ パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動し養殖、蓄養中の魚介類に被害をおよぼすことがあります。
- ・ 陸上養殖では夜間に、中層での赤潮を引き込む危険があります。

赤潮発生場所での対応

- 投餌は控える。
- 赤潮海域へ魚介類を入れない。
- 赤潮海域から魚介類を避難する。

